

(別紙)

## 障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名

神奈川県

### 【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジンミョウジョウウカイ
法人名	社会福祉法人明星会
フリガナ	タケノコホーム
事業所名	竹の子ホーム
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
共同生活援助	
職員数（常勤換算数）【「全職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休・休職は除く）】	18.8人
ICT機器等導入完了日	令和7年2月28日

※行・列の追加は行わないでください。

### (1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
職員間の情報伝達・情報共有	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
請求業務	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
勤怠管理	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
シフト表作成	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
給与業務	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみ対応）
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等に対応）
- ③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等に対応）

### (2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台数	備考
③タブレット	①作業の迅速化	NEC LAVIE Tab T11	9	
⑦Wi-Fi・ルーター	②情報の共有化	無線ルーターBuffalo VR-U300W	2	
⑦Wi-Fi・ルーター	②情報の共有化	無線LAN中継機 Buffalo WEX-5400AX6	3	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
- ②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
- ③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
- ④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	30人	1,812件	21,744件	6分	2,189時間	73時間	
⑦その他	9人	58件	696件	127分	1,473時間	164時間	小口現金出納帳の管理
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		1,870件	22,440件	133分	3,662時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。  
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A.ひと月当たり発生件数の算出方法

①支援記録の作成 手書き48名×30日=1,440件、PC入力372件(R6年9月実績) 合計1,812件  
②小口現金管理 各ホームの小口現金出納帳18件+利用者様の小口現金出納帳40件=58件

<※2>C.1件当たりの平均処理時間の算出方法

①支援記録の作成 PC入力1回5分×372回=1860分、手書き1回6分×30日×利用者48名=8640分、  
PC入力のための職員の移動時間450分 合計10,950分 10,950分/1812件=6.04分  
②小口現金出納帳 利用者40名分 PC管理27名×28分/月 手書き管理13名×40分/月 平均3.2分  
各グループホーム 9ホーム中 PC管理120分/月×6カ所・手書き330分/月×3カ所 平均9.5分(1カ所で食費と日用品費の2つの小口現金管理)

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	30人	1,697件	20,364件	6分	1,911時間	64時間	
⑦その他	9人	58件	696件	127分	1,473時間	164時間	小口現金出納帳の管理
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		1,755件	21,060件	133分	3,384時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。  
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A.ひと月当たり発生件数の算出方法

①支援記録の作成 手書き1,071件、PC入力626件(R7年2月4日~3月5日実績) 合計1,697件  
②小口現金管理 各ホームの小口現金出納帳18件+利用者様の小口現金出納帳40件=58件

<※2>C.1件当たりの平均処理時間の算出方法

①支援記録の作成 手書き1回6分×1,071件=6,426分、PC入力1回5分×626件=3,130時間、PC入力のための移動時間0分 合計9,556分  
9,556/1,697=5.63分  
②小口現金出納帳管理 導入後、①について重点的に取り組んだため処理時間の短縮までには至らなかった。

年間業務時間削減率(%)

7.6%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0ページ
		0ページ
		0ページ
	0ページ	0ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0ページ
		0ページ
		0ページ
	0ページ	0ページ

年間作成文書量削減率(%)

#DIV/0!

(4) ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

・法人本部担当職員と事業所所長・サービス管理責任者で検討会を行いICT導入目的・活用内容等を検討した。  
・法人でPC環境等の保守事業を委託している会社へ相談し、検討会にも参加していただいた。  
・9か所のグループホームについてインターネット環境導入を行ったが、各グループホームの立地や今後の運営予定等を考慮しながら最適手段(光回線・ホームルーター・中継機等)を選択するの判断が難しかった。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか(事業所内の推進体制、外部への相談など)を記載してください。  
また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化(複数選択可)

情報端末導入による効果	
<input checked="" type="checkbox"/>	1 支援記録の作成に要する時間が減った。
<input checked="" type="checkbox"/>	2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
<input type="checkbox"/>	3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
<input type="checkbox"/>	4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
<input type="checkbox"/>	5 その他の効果があった。
<input type="checkbox"/>	6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

--

ソフトウェア導入による効果	
<input type="checkbox"/>	1 支援記録の作成に要する時間が減った。
<input type="checkbox"/>	2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
<input type="checkbox"/>	3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
<input type="checkbox"/>	4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
<input type="checkbox"/>	5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
<input type="checkbox"/>	6 その他の効果があった。
<input type="checkbox"/>	7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

--

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

・すべてのグループホームにて支援記録の入力が可能になったため、生活支援員が支援記録の入力のためにだけに拠点に戻ることがなくなり効率化が図れた。  
・他のグループホームの支援記録を各グループホーム等でも確認できるようになったため、利用者の情報を当該グループホームまで行かなくても確認できるようになり、職員間で共有するまでの時間が短くなった。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

・利用者への直接支援の充実

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減	無
-------------------	---

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額(円)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

--

(※2)「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。

--